

プラスチックごみ

について考えよう

身近で便利なプラスチック製品



市で収集したプラスチック容器包装は有効利用されています



海岸を埋めつくすプラスチックごみ
(高松市屋島西町 春日浜)

でも、きちんと
処理されないと
海岸がこんなことに・・・

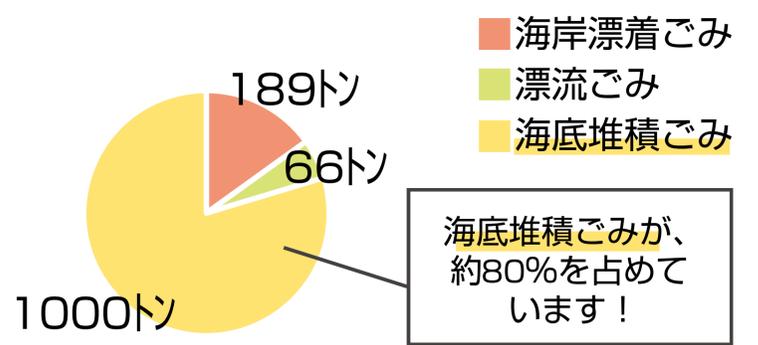


エコバツくん

海ごみはどこから来て、どこへ行くの？



瀬戸内海の家ごみの内訳



目に見えている海ごみは、
たったの一部！

海ごみのほとんどがプラスチックごみです

！ プラスチックごみに苦しんでいる生き物がたくさんいます。



◀ゴーストフィッシングされた魚
※持ち主のなくなった漁具が
人の管理を離れて長期間水生生物を
捕獲することを、幽霊漁業
(ゴーストフィッシング) と呼びます。



▲太平洋で見つかったアホウドリの死骸。
胃の中にはプラスチック類やライター
等が入っていた。

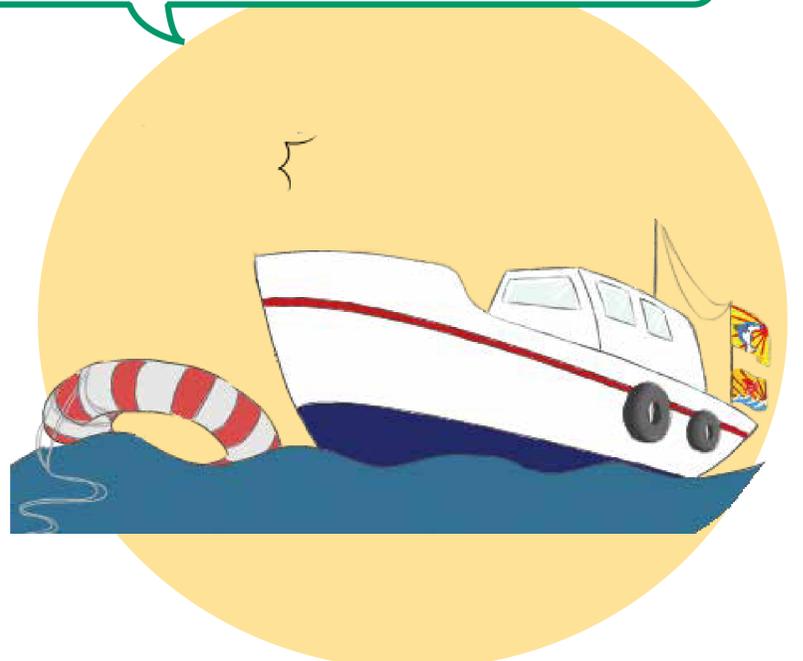


▲漁網にからまったウミガメ

！ 景観が損なわれます



！ 漁業へ影響を
きたしています



！プラスチックは年月が経過すると マイクロプラスチックになります。

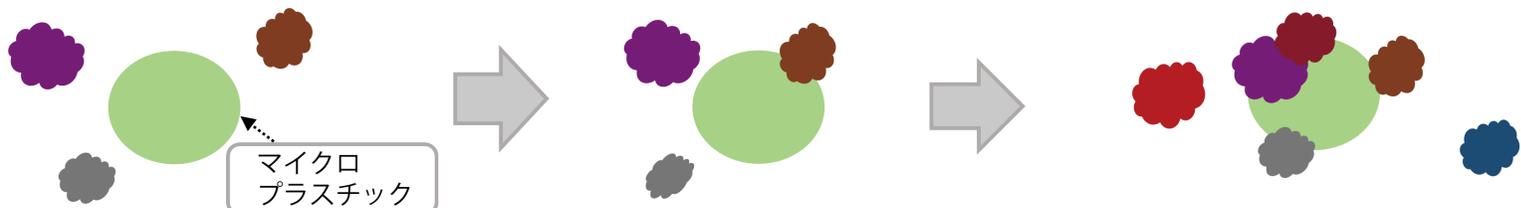
マイクロプラスチックとは

・大きさが5mm以下のプラスチックのこと。紫外線や海の流れの中で粉々に砕かれ、発生しています。また、自然界のみでなく、洗顔料や歯磨き粉にも研磨剤として含まれています。

なぜ、マイクロプラスチックがだめなの？

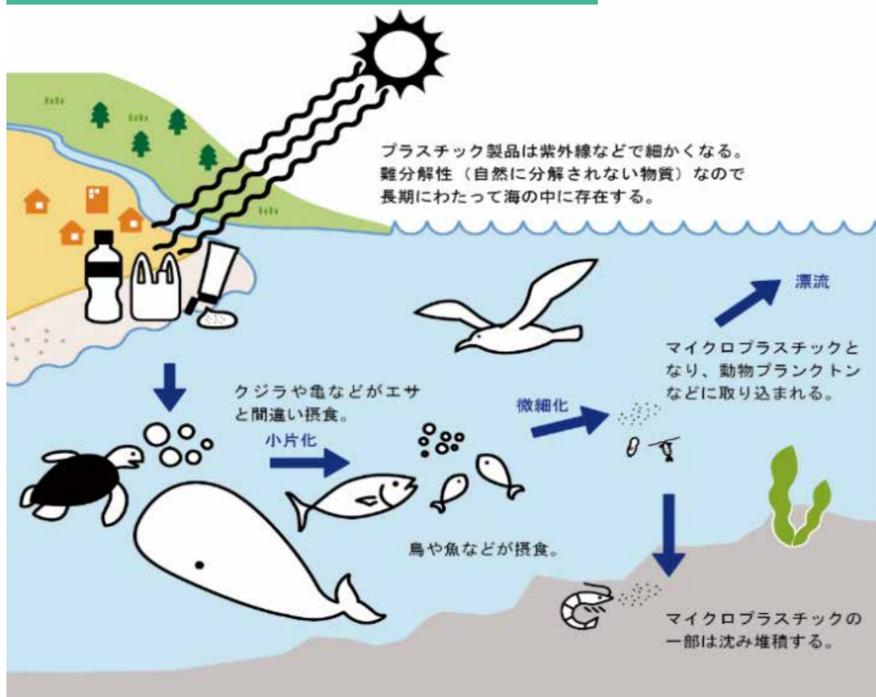
有害物質をとりこむ

最近の研究で、マイクロプラスチックは海中の有害物質（※）を取り込みやすいことが分かってきました。



※残留性有機汚染物質（POPs）と呼ばれるもので、PCB、ダイオキシン、DDTなど

食物連鎖による生物濃縮



▲日本列島から1000km離れた太平洋上で採取したマイクロプラスチック
(出典:気象庁)

餌と間違えて誤食した魚を、上位の生物が食べることにより、プラスチック片が体内に溜まります。また、魚の体内に有害物質が蓄積される可能性があり、生物濃縮により人体への影響が懸念されています。

環境省ホームページから

マイクロプラスチックになると、回収は困難になるんだ。

また、プラスチックは自然の中ではほとんど分解されないから、半永久的に存在して海洋でたまる一方になってしまうよ。



私たちにもできることを考えよう

マイボトルを持とう



マイバッグを持とう



屋外で出たごみは
持ち帰ろう



使い捨てプラスチック製品は
使わない、もらわない



屋内に移動させよう

風の強い日はバケツ等を屋内や
風の影響を受けにくい場所へ
移動させましょう



きちんと分別しよう

★
プラス
チック
ごみ



★
破碎
ごみ



洗っても汚れが落ち
なかったものや
食べ残しのある
お弁当箱などは、
破碎ごみとして出
してね。

